

湖山西人権教育だより

第27号

湖山西地区人権教育推進協議会
発行責任者 裕一
平家

人の尊厳を大切に 社会となるために



湖山西地区人権教育推進協議会
会長 平家 裕一

全ての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等であるとした世界人権宣言の理念は、人類普遍の原理であり、日本国憲法においても、法の下での平等及び基本的人権の保障が定められています。

今年度は、昨年に続き20の町内で小地域懇談会を実施することが出来ました。こうした取り組みに前向きに取り組んでいただき感謝申し上げます。

小さな子供の虐待やいじめなどを痛める情報に触れる事があります。子供を追い詰めてしまふ現状はとても許しがたいものがあります。国会でも、虐待に対する法の整備

今年度、障がい者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法が施行されました。また鳥取県では人権施策基本方針が平成30年2月に改訂され、新たにインターネット上の悪質な書き込み等に対して実効性のある法の整備の要請や、自死にかかわる人権問題、学校での人権教育に関する記述を盛り込み人権尊重の精神を育む教育の推進に取り組むことな

が追加されました。また、今回新型コロナウイルスが発生したことによるSNSでの誤情報・デマの発信により、トイレレットペーパーの売り切れ事故が起こるなど、まったく事実無根の情報が拡散され、市民が混乱させられています。

加えて、ウィルスの隣性反応があった方への差別発言や行動が見受けられます。心配や不安から来る行動ではありますが、個人を攻撃する事は慎むべきだと考えます。

いい情報なら良しとしても、誹謗中傷の内容は人権問題に直接影響を与えてしまい、とても深刻な問題となっております。

湖山西地区としても引き続き差別のない社会となるために、各町内へ情報提供をしながら取り組んでいきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

会員・自治会全体研修会

令和元年6月8日 湖山西地区公民館

地区人権協議会員・各町内会長・各町内会の人権協力員を対象に小地域懇談会開催に向けての事前研修会を行いました。当日は、「えっ！これも人権？」〜4コマ劇場のDVD視聴後、参加者全員で意見交換を行いました。最初はなかなか意見が出ませんでした。時間がたつにつれていろいろな意見が出てきました。各町内会の参加者が少なく、いつも同じ方ばかりの参加なので少しも増やしたい思い、今年度から、町内会長又は人権協力員の方に可会進行をお願いして、小地域懇談会を進めていく事になりました。町内で運営していく事で、自分たちがやっているんだという意識改革で参加型から主催者側へ立ち、一人でも多くの参加者を増やす狙いがあります。来年度も事務局がフォローしながらこの体制でやって行きたいと思っています。



人権講演会 演題 あいサポーター 〜障がいを知り、共に生きる〜

令和元年11月16日 湖山西地区公民館
講師 あいサポーターメッセンジャー
水根 健志 氏

本年度の講演会は、あいサポーター〜障がいを知り、共に生きる〜講演会を行いました。当日は会員の方をはじめ一般の方の参加もあり43名の方の参加がありました。本講演会の講師には、あいサポーターメッセンジャーの水根健志さんをお迎えし行いました。一昨年も同じようにあいサポーター研修を行いました。皆さんが驚いておられるのか、またやってほしいと思う声をたくさんいただきました。至りました。あいサポーター研修を受けたからと言って必ず何かをしないといけないわけではなく、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っている時、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、日常生活で困っている時などに、ちょっとした手助けをする意欲がある方であれば誰でもなる事が出来ます。障がい者の方が困っている時に遭遇したら、見て見ぬふりをするのはなく、声をかけること、どんな障がいがあるかを理解し、少しでも手を差し伸べられるように出来れば良く、何が何でもやらなければならぬと思わないで良いことを学びました。障がいの特性などを習い今後に生かしていける様を講演会となりました。



令和元年11月16日(土)にあいサポーター研修会を行いました。講師の方のお話を聞き、DVDを見て、障がいについてもその種類は思っていたより様々で、障がいのある方の困りごとや必要な配慮もいろいろある事を知りました。障がいのある方のため何をするばいのか？自分が出来るのか考えさせられました。障がいのある方が暮らしやすい社会になるよう、あいサポーター運動がどんどん広がってほしいなと思っています。

推進員 小林 由香里

推進員 石田 界三

令和元年度 湖山西地区人権教育推進協議会

人権啓発推進員

- 小林由香里 さん(R C K)
 - 石田 界三 さん(あけぼの)
 - 井本 桂子 さん(学園前団地)
 - 麻本 栞天 さん(北四丁目)
- ★一年間お疲れ様でした★

★人権啓発推進員活動内容★

- 各町内会小地域懇談会の進行
- 湖山西地区の各研修会・講演会の運営
- 湖東ブロック研修会への出席
- 鳥取市・県主催の研究集会や研修会への参加
- 人権教育だより編集・発行

お知らせ

小地域懇談会の開催に伴う活動費の補助(三千円)について

小地域懇談会の開催町内会には三千円の補助をしておりますが、令和2年度からは補助の内容を変更いたします。一律三千円の支払いはせずに、人権図書、人権に関する冊子の購入などに充てていきます。購入した人権図書、冊子などは各町内会に回覧して人権学習の題材としてお使いいただけたりと思っております。なお、ビデオ、スクリーンなど小地域懇談会に必要な機材等、資料は事務局で準備・持参いたします。今年度も全町内会の開催をお願いし、事務局までご相談いただけます。お待ちしております。

小地域懇談会のようす

～町内会の取り組みについて～

○…参加者の感想

「えっ！これも人権？」

～4コマ劇場より～

この作品は日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれでも人権なんだ」とその大切さを知り、「4コママンガ」と実写で構成されています。「人権」

○「〇〇」○「あなたなら人権という言葉をどう置き換えますか？誰にとっても大切な人権、それは「愛」でもあり、「やさしさ」でもあります。そう考えると、「人権」は決して難しいものではなく、みんな、あなた自身が気づき行動に移せる事が大切であると思います。



北四丁町内会 9/15

○日頃よくあることについて人権問題が関わっているのがよく分かった。

○昔の人権と捉え方が違う。

○講師の方が迷って、人権について、人に強要しない事が大事と、相手に寄り添って考えよと言われたのはとても良いと思います。



茶屋西町内会 10/6

○内容が幅広くいろいろな人権幅広く深くは改めて認識出来ました。

○形にこだわらずより具体的なテーマで分かり易く研修するのがいいと思います。



市住一区・3棟 湖山団地4・5・6・7棟町内会 10/6

○DVDを見てこれでも人権なんだと思う事がたくさんありました。

○思いやりを持った行動する大切さに気づくことが出来ました。



堀越・砂浜町内会 10/11

○福祉サービスは65歳以上なので若年性の場合の話も聞きたかった。

○認知症は本人が最初に気づく。認知症は治す事は出来ないが早く気づけば進行を遅らせられることが出来る。早く気づくことが大事。



白鳥町内会 10/13

○DVDを見て、それぞれ正しいと思えます。ただし、意見の違いや感じ方があると思います。

○日常、気をつけなければきちんと対応できると思つた。



烏大南町内会 10/20

○人権＝相手を思いやる気持ち大事だと感じました。

○先入観や固定観念で物事を考えたり見たりしていたところが自分にもあった。



あけぼの町内会 11/16

○日頃ちょっとした事でも無意識のうちに関わりを働かせているものだと思えました。

○男女の家事の分担、育児の取り方が考えさせられる内容でした。



かがやき町内会 12/22

○小地域懇談会等に参加し今年の課題は人権について日々の自分自身を見つめることが大切であると感じた。

○今後の気持ちを大切に寄り添いながら暮らしていきたいと思つています。



新田町内会 1/19

○目の前の人の事を理解することが大事。

○人権に対して興味が高かったがこの会を機に思いやりの心が大切だと思つても勉強になった。

○日々の生活に思い当たる内容がたくさんあり勉強になりました。



「老いを生きる」

【作品紹介】

誰もが通らなければならぬ老いの問題を自分のことと捉え、日常生活の中で高齢者に対する思いやりの心が豊かや行動に表われるよう人権感覚を身につける作品です。



蓮池・塔ノ角町内会 8/3

○焦点が定まらず意見を言っているだけだったが、このような機会が必要だと思う。

○人権について改めて知る事が出来た。

○無意識で行っている行動がたくさんあると感じました。



白浜飛行場町内会 10/6

○初めての対応で何かのきっかけになるかもしれない。

○予防トレーニングを両親にさせようと思った。

○認知症は初めに本人が気づくと聞いて驚いた。



「君がいるから」

【作品紹介】

子どもや若者は、社会の希望であり、未来をこける存在です。しかし現実をみると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲惨な事件が後を絶ちません。今もいじめなどにより人権を侵害され苦しんでいることに私たちは気づかなければなりません。



砂丘・学園前町内会 11/10

○地域づながりを大切にすること。

○相談できる人をつくる。

○人とのつながりを大切にすることが大事。

○人間関係の難しさを感じました。



「愛のひかり」

【作品紹介】

家族の中で疎外感を持つ高齢者をテーマにした作品です。認知症を患う高齢者、その介護に疲弊した高齢者や無気力な毎日を送る若者が、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支えるサービスの活用などで絆を深め、生きがいを感じられる生活を送る事が出来る様になつていく様子を描いています。



大寺屋町内会 5/19

○人権に関わるので外に話したくない。現実には難しいと感じた。

○地域で支える事の大切さを感じた。

○個人ごとに状況が変わってくるので自分に合ったケアを知る事が大事。



「小地域懇談会を振り返って」

令和元年度

小地域懇談会では、何回参加しても毎回新たな気づきや驚きがあります。同じDVDを見ても、前回見た時には気にならなかった点が気になったり、参加された方の感想を聞いて自から驚いたりもします。「えっ？これも人権？」というDVDは、とても身近な習慣を例に挙げて人権問題を考えさせてくれるものでした。例のいくつかはそれまで気づけなかったもので、それが感じるものもありました。が、それで働く人がいるのであれば、気をつけるべきなんでしょうかと思つきました。迷いながらも推進員ですが、毎回新たな発見があります。小地域懇談会に毎回参加してくれた方はもちろん、また参加された事がない方もぜひ参加して私と一緒に迷ってほしいです。

推進員 井本 佳子



令和元年度より推進員を担当していますので、今回、初めて各町内の小地域懇談会に出向させていただきました。推進員として、懇談会に参加した町内の皆さんがリラックスして意見交換ができるよう取り組んだつもりでしたが、実際はそうは思ひ通りに進まなかったのが正直なところでした。ただ、町内会長さんや参加した皆さんに助けていただき、何とか町内を担当し終えました。ありがとうございました。

各町内の懇談会で共通して感じたこととは、参加した皆さんが「人権」ということを真剣に考えておられることです。建前ではなく、実体験や自分の考え方を含めた貴重なご意見を聞けたと感じました。

推進員の任期はもう1年ありますので、今回の経験を活かして取り組みたいと思えます。

推進員 麻木 哲夫